

## 新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施に向けて

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種については、国の主導的役割のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施するものとされております。

本市では、国が示すスケジュールどおりに接種できるよう、令和3年1月13日付けで、保健福祉局医療衛生推進室に核となる体制を構築するとともに、京都市新型コロナウイルス感染症対策本部の下に新たに「ワクチン接種部」を設置し準備を進めているところであり、接種事業の実施に向けた現状を御報告いたします。

### 1 接種事業の概要

#### (1) 接種に係る実施体制

##### ア 国

ワクチンの確保、接種順位の決定、ワクチンに係る科学的知見の情報提供等

##### イ 都道府県

地域の卸売業者との調整（ワクチン流通等）、医療従事者等への接種体制の調整、専門的相談対応等

##### ウ 市町村

医療機関との委託契約及び接種費用の支払、住民への接種勧奨及び接種券の送付、接種手続等に関する相談対応、集団接種を行う場合の会場確保・会場運営等

#### (2) 接種順位及び接種スケジュール

##### ア 接種順位

当面、確保できるワクチンの量に限りがあり、その供給も順次行われる見通しであることから、重症化リスクの大きさ、医療提供体制の確保等を踏まえ、国において接種順位が決定される。

##### 【現在検討されている接種順位】

- ① 医療従事者、救急隊員、積極的疫学調査に携わる保健師等
- ② 高齢者（令和3年度中に65歳以上に到達する人）
- ③ 基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者、  
60～64歳の者（ワクチンの供給量によって対象追加を検討）
- ④ 上記以外の者

## イ 接種スケジュール

2月下旬 医療従事者向け先行接種・・・①

3月上旬 医療従事者向け優先接種・・・②

3月下旬 高齢者(65歳以上)向け優先接種

上記以降 基礎疾患(呼吸器疾患他14の疾患又は状態)のある方、高齢者施設等の従事者

(ワクチンの供給量によっては60～64歳の対象追加を検討)

※ その他の方については、ワクチンの供給量等を踏まえ順次、実施

※ ①及び②は、国・都道府県が接種体制を構築

※ 下線部については、国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で議論されている状況で1月中に決定される予定。

## (3) ワクチン等の割当て

### ア ワクチン

- ・ 現時点では、供給されるワクチンの種類は確定していないが、唯一国内で薬事承認申請が行われているファイザー社製ワクチンの供給を前提に準備を進めている(国が供給を受けることについて合意に至っている3社のワクチンについては、別紙1のとおり)。
- ・ 国においては、ファイザー社製ワクチンについて、7,200万人分を確保するとされているが、本市への供給量及び供給スケジュールについては、現時点では未定。

### イ ディープフリーザー(超低温冷凍庫)

- ・ ファイザー社製ワクチンの冷凍保管に必要となるマイナス75℃のディープフリーザーについては、国において約10,000台を確保し、各自治体の人口を基に可能な限り公平になるよう割当てを行うこととされている。
- ・ 本市には、83台が割り当てられる予定であるとともに、京都府が医療従事者向け接種用に市内に設置する6台についても、住民向け接種用に活用可能となる予定。

なお、各自治体へのディープフリーザーの配布は、2月末から6月末にかけて、段階的に行われる予定。

## (4) 接種券の発行

### ア 対象者

原則として、本市の住民基本台帳に登録されている者(対象年齢は、今後明らかにされる)。

ただし、長期入院、長期入所している等のやむを得ない事情による場合には、例外的に住民票所在地以外でワクチン接種を受けることができることとされている。

## イ 発行スケジュール

### 【1月25日の国通知において示されたスケジュール】

発送区分	印刷期日	発送期日	データ抽出基準日
高齢者 (65歳以上)	3月5日まで	3月12日まで (1月25日の国の説明会で、 3月中旬以降で、具体の日程 は、追って提示するとされた)	1月1日
それ以外の者	4月23日まで	追って提示 (準備は4月中)	4月1日

本市においても、国が示す期日までに、全ての対象者に接種券を一斉発送したうえで、受付電話の集中等により市民に混乱が生じないように、ワクチンの供給量や接種体制の確保状況等に応じ、受付を分散させる方法について検討していく。

また、接種率やディープフリーザーの配置状況、ワクチンの供給状況等に応じ、柔軟な対応ができる手法についても検討していく。

## (5) 接種回数

2回（予定）

## 2 本市における準備状況

### (1) 市内の準備体制（別紙2のとおり）

集団接種会場の確保や会場運営に係る人員の確保など、全庁挙げた取組が必要となることから、京都市新型コロナウイルス感染症対策本部の下に新たに『ワクチン接種部』を設置し、全庁的な責任体制の下、取組を推進

ワクチンが承認された場合に速やかに接種ができるよう、令和3年1月13日付けで、保健福祉局医療衛生推進室に核となる体制を構築

### (2) 委託事業者の確保

次の業務について、それぞれの期限までに滞りなく実施できるよう準備作業を進めるため、速やかに委託事業者の選定を行う必要があり、現在、複数の事業者に対し、意向確認調査を実施するなど、委託候補事業者の選定作業を進めている。

ア 接種券の印刷・発行に関する業務（3/5までに印刷，3月中旬までに発送）

イ 市民からの相談・予約受付窓口（コールセンターの設置等），市民の予約・接種状況の入力・管理等に関する業務（事前問合せの段階から対応できるようコールセンターを設置）

ウ 集団接種会場の運営に関する業務（3月下旬から集団接種開始）

### (3) 接種体制

住民向け接種については、医療機関での実施の他、市町村が必要に応じて医療機関以外の接種会場を確保し、実施することとされており、本市においても次の接種体制を構築することとしている。

## ア 個別接種医療機関

### (ア) 基本型接種施設

ディープフリーザー（－75℃）を設置し、冷凍で配送されたワクチンを保管・管理する施設。住民への接種を実施するとともに、必要に応じ、サテライト型接種施設へのワクチン移送元となる。

### (イ) サテライト型接種施設

基本型接種施設からワクチンの移送を受け、接種を行う施設。

- ・ 基本型接種施設と同一グループのサテライト型接種施設を合わせて、10日間に1,000回以上の接種を行う体制を確保することとされている。
- ・ 現在、市内の97箇所の医療機関に対し、上記(ア)又は(イ)の実施の可否についてアンケート調査を実施しており、今後、具体的な設置施設について、各医療機関等と調整していく。

## イ 集団接種会場

各行政区単位での設置を予定。

今後、2～3箇月間、常設の接種会場として使用可能な施設を確保するとともに、ワクチンの供給見込み等も踏まえ、医師の出務体制等について、京都府医師会及び地区医師会と協議を進めていく。

## (4) 関係団体との協議状況

本市における接種体制の構築や接種の実施に当たっては、医療機関や医療従事者の知見や協力が不可欠であることから、京都府医師会、各地区医師会、京都私立病院協会、京都府病院協会、京都府看護協会等の関係団体と、ワクチン接種事業全般に対する幅広い観点での意見交換や協議を進めていく。

## 3 当面必要となる予算について

接種券（高齢者向け優先接種）の印刷・発行等に係る事務については、国が示す発送期日（令和3年3月中旬）までに、遅滞なく接種券を送付するためには、1月末までに事業者と契約を締結する必要があるため、「新型コロナウイルス感染症対策予備費」を活用して、直ちに対応してまいります。

また、その他の当面必要となる経費については、令和3年2月市会で補正予算を提案してまいります。2月下旬から接種が開始される医療従事者分の接種管理を本市で実施する必要があることや、3月上旬の予約受付開始前に、事業者による業務習熟期間を設け、予約事務を円滑に進めていく必要があることなどから、できる限り速やかに準備を進めてまいります。

【予備費充当額：32,000千円】

65歳以上高齢者を対象とした接種券の印刷費用

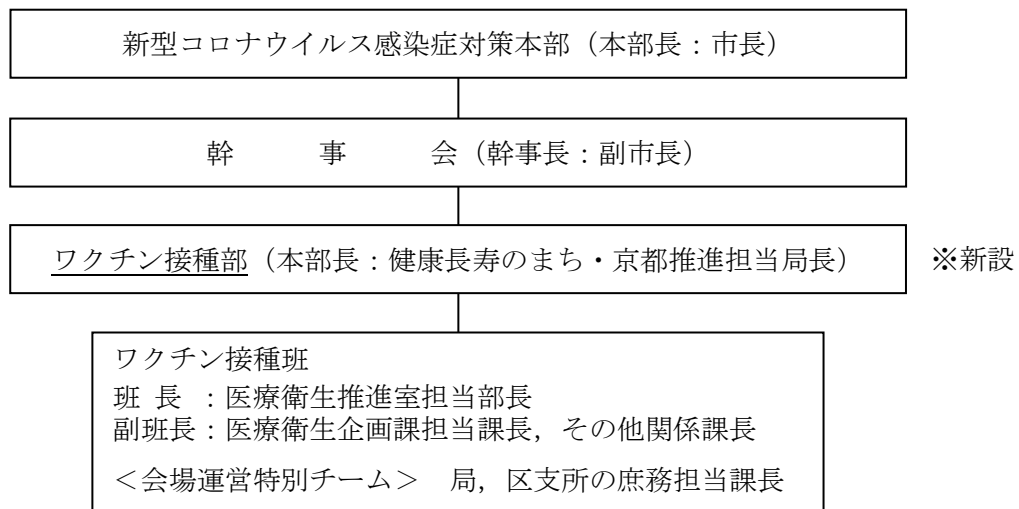
**参考** 新型コロナワクチンの各社情報 (R3.1.21 現在) ※薬事承認前であり全て予定の情報です。

	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田/モデルナ社
規模	1.44億回分 (7千2百万人×2回接種)	1.2億回分 (2回接種が想定されており、その場合6千万人分に相当)	5千万回分 (2千5百万人×2回接種)
接種回数	2回(21日間隔)	2回(28日間隔)	2回(28日間隔)
保管温度	-75℃±15℃	2～8℃	-20℃±5℃
1バイアルの単位	6回分/バイアル	10回分/バイアル	10回分/バイアル
最小流通単位 (一度に接種会場に配送される最小の数量)	195バイアル (1170回接種分)	10バイアル(100回接種分) ※供給当初300万バイアル分 2バイアル(20回接種分) ※残り900万バイアル分	10バイアル (100回接種分)
バイアル開封後の保存条件 (温度、保存可能な期間)	(室温で融解後、接種前に生理食塩液で希釈) 希釈後、室温で6時間	(一度針をさしたものを以降) 室温で6時間 2～8℃で48時間 希釈不要	(一度針をしたものを以降) 2～25℃で6時間(解凍後の再凍結は不可) 希釈不要
備考	・医療機関では、ドライアイス又は超低温冷凍庫で保管 ※医療機関でのドライアイス保管は10日程度が限度 →10日で1170回の接種が必要 ※最大5日間追加での冷蔵保管可 (2～8℃)		・医療機関では、冷凍庫で保管(-20℃±5℃)



## 新型コロナワクチン予防接種事業の準備体制について

新型コロナワクチン予防接種事業については、集団接種会場の確保や会場運営に係る人員の確保などで、全庁挙げた取組が必要となることから、京都市新型コロナウイルス感染症対策本部の下に新たに『ワクチン接種部』を設置し、全庁的な責任体制の下、取組を進めていく。



また、ワクチンが承認された場合に速やかに接種ができるよう、令和3年1月13日付けで、保健福祉局医療衛生推進室に核となる体制を構築した。

